

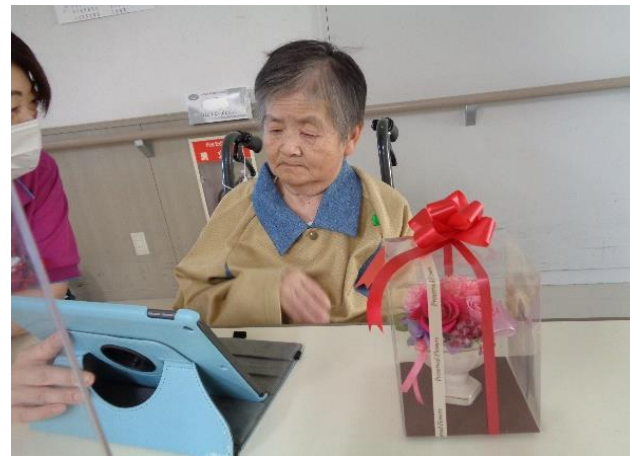
タブレット面会のお知らせ

ご家族様の皆さんにご利用いただいているタブレット面会大変ご好評いただいております。今後も引き続き行っておりますのでご活用ください。
ご利用時にはマスクを着用の上、受付で手指消毒、検温、問診を行います。発熱や風邪症状のある方、感染症を疑われる方のタブレット面会はできません。ご利用者様の状態や感染症の発生状況により中止や変更が生じることがございます。ご協力よろしくお願いいたします。

予約受付時間: 13:00～17:00(月～土)
面会時間: 15:00～17:00(月～金)
15:00～16:00(土)
面会予定時間: 5～10分程度 1回2名様まで
面会場所: ゆうゆうホーム面会室
面会予約先: 事務受付 電話番号0224-62-4866

※ご利用者様各フロアとタブレット端末をつなぎ、面会となります。

お母さん、お元気ですか？
お誕生日おめでとう！



— 久しぶりの親子の対話、安心と笑顔をいただいたタブレット面会でした —

《編集後記》

今年度、最初の発行となります。行事広報担当のメンバーも一新し、ゆうゆうだより3回発行を予定しております。ホームでの様子を今回はリハビリの取り組みを掲載しました。これからも皆さんにわかりやすくお伝えできるように広報を通して編集に尚一層力を入れて参ります。皆様のご意見ご要望をお聞かせいただければ幸いです。一日でも早いコロナウィルスの終息を願い明るい普通の生活に戻ることを職員一同願っております。

<ゆうゆうホーム 行事広報係>



ゆうゆうだより

医療法人 金上仁友会

介護老人保健施設 ゆうゆうホーム

令和3年7月発行



©2018 kanagami

梅雨空の中、蒸し暑い日や日差しが強い日等天候不順ですが、ゆうゆうホームの中庭の深緑は尚一層美しく輝いております。ホーム内では様々な活動に取り組み、それぞれ皆様の大切な時間の過ごし方を職員と共に見つけ、有意義な時間を過ごしております。いまだコロナ禍の状況にあり、制限された生活が続いておりますが、そのような中でもゆうゆうだよりを通して日常の充実した様子をお伝え出来ます事を嬉しく思っております。今後も皆様には御協力をお願いすることもございますが、宜しくお願い致します。

新型コロナワクチン接種

感染制御実践看護師
看護副部長 佐々木みゆき

角田市では65歳以上の方に新型コロナワクチン接種が進んでいます。5月下旬よりゆうゆうホームでも入居者の皆さんに接種を開始しております。ワクチンは新型コロナウイルスの感染予防の切り札ともいわれ、多くの方々に接種するように国が呼び掛けております。
ワクチンを接種したからといって100%感染を防げるわけではありませんが、発症率を低下させたり、重症化を防ぐという効果があります。高齢者施設に入居している皆さんは、免疫力が低下して感染しやすい状態(易感染状態)の方が多く、そして、集団生活を送っています。一人が感染してしまうとすぐにクラスターとなってしまうことがあるため、入居者の皆さんが安心して生活を送れるよう予防接種はとて有意義です。今後も職員一同、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めて参ります。



ホームが地域の皆さんの接種会場に



丁寧な問診の後の
接種の様子

～ コロナ感染拡大防止のため金上仁友会をあげて協力しています ～

< ゆうゆうホームのリハビリテーション >

— 科学的リハビリテーションLIFE開始 —

利用者様の状態を把握し、会議の結果を踏まえてリハビリの計画書を作成します。

ケアプランに基づいてリハビリマネジメント会議で利用者様のリハビリの方向性を多職種で話し合います。

4月より介護にも科学的な視点が必要ということで厚生労働省へのデータの提出が開始されました。今後、全国の改善例などがデータとして届くようになります。ゆうゆうホームでの取り組みをご紹介します。

右ページもDo(実行)の一部分です

PLAN (計画)

計画書等の作成

ACTION (改善)

フィードバック情報による利用者の状態やケアの実績の変化等を踏まえた計画書等の改善

フィードバック

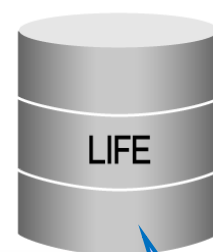
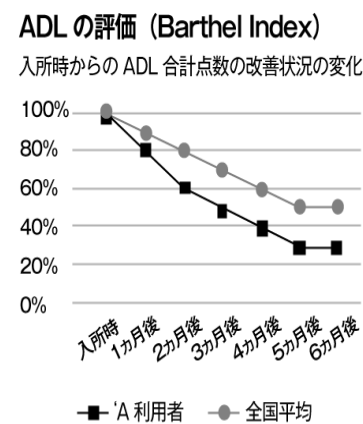
DO (実行)

計画書等に基づいたケアの実施

CHECK (評価)

利用者の状態、ケアの実績等(計画書等の様式等)の評価・記録・入力

データ提出(自動)



厚生労働省の科学的介護情報システムをLIFEといいます。



リハビリの計画書に基づき、利用者様やご家族様の希望を踏まえてリハビリを実施します。



リハビリの結果が出ているかどうか、測定を行ったり、自宅で確認をします。



< 生活行為向上リハビリテーション >

西・東棟



移動手段を車椅子から歩行器付き添いへ！

これからは私がお茶を入れるわ！



お茶準備して飲むことが今までの日課でした。退所後も引き続き日課として行えるようにお茶を汲む見守りを介護職員が行い、立って湯呑を運ぶなどの二重課題が必要な動作を科学的アプローチのもとセラピストが練習するなど役割を分担しています。

ご自宅での生活を想定し、利用者様と一緒に介護職員が生活リハビリに力をいれております。例えば「毎日の歩行練習」「浴槽の跨ぎ練習」「ベッドから車椅子への移り乗り」「ポットから自分でお茶を汲む」などセラピストと連携して行っております。日々の生活の中においても目標を設定し取り組むことでADLの向上に大きくつながります。これからもご自身が楽しく笑顔で、自立した生活を送れるように支援していきます。

普段は車椅子で移動していますが自宅退所に向けて日常的に歩くことができるように介護職員がセラピスト指導のもと歩行練習をしています。

デイケア(通所リハビリテーション)

もう少し重心を下げて～

植える間隔に気をつけて～元気に育つといいね！

昔を思い出すなあ



自宅で畑仕事や野菜作りがしたいという目標を立てそれに対して必要な動きや能力獲得に向けて、科学的根拠のもとリハビリに取り組んでおります。今回は大根、ニンジン、種まき、ブロッコリーの苗植え等、セラピスト付き添いのもと不安定な畑の場所にもかかわらず、クワを使用して畝作りから種まきと、楽しく取り組みました。